

ハイブリッドデータ統合ハブにより最新化を加速

クラウドとビッグデータの導入を進めながらアナリティクスとアプリケーションの最新化に伴う課題を克服

多くの企業は、新たなアナリティクスやアプリケーション、クラウド、ビッグデータを最適な方法で迅速に導入し、ビジネスチームが必要とするデータを提供することに苦勞しています。テクノロジーの変化と競争の両方のペースが加速する中で、企業は、業務部門へのデータ提供において、さまざまな課題に直面しています。多くの場合、企業のデータインフラストラクチャには数多くのポイントツープointのインターフェ

イスが組み込まれているため、管理や迅速な変更が困難です。その結果、分析システムや業務システムを最新化し、新しいアナリティクス、アプリケーション、クラウド、ビッグデータを組み込んで、その利点を活用することが困難になっています。

アプリケーションやアナリティクスが最新化するに伴い、大部分の組織のITインフラストラクチャで、大きな変化が起きています。しかし、一元管理と組織的なアプローチがなければ、社内全体のデータパイプライン間における相互的な依存関係によって、変化を進めることは困難であるか、不可能となってしまう。実際には、何らかの問題が発生するまで、このような関係性やその深刻さを理解できない場合もあります。このため、アプリケーションを導入、統合、リタイアし、高品質のデータをすべてのアナリティクスシステムに提供するには非常に時間がかかり、リソースを消費するプロジェクトになる可能性があり、スケジュールの大きなリスクも伴います。

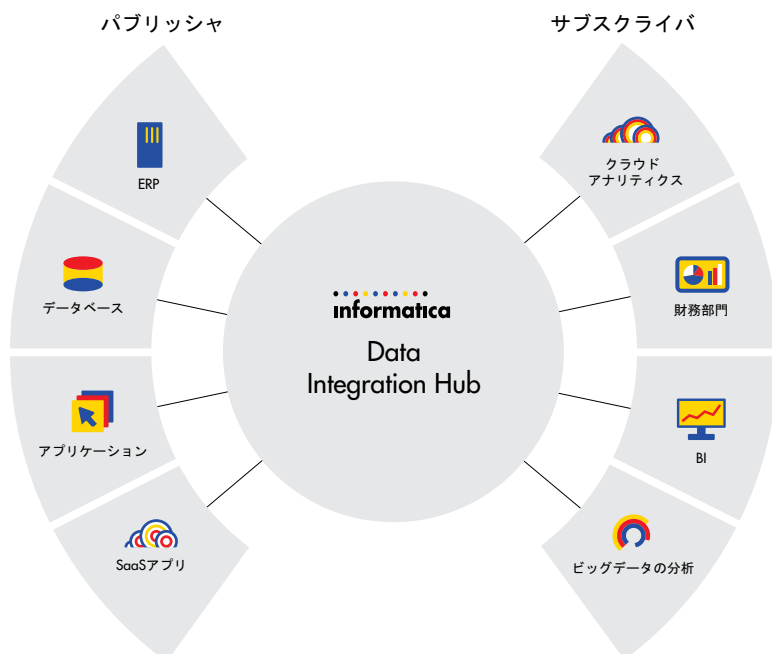
クラウドとビッグデータは、それらを活用できる企業にとって大きなチャンスになります。ほとん

どの企業は、Salesforce.comやWorkdayなど、少なくともいくつかのSaaS（サービスとしてのソフトウェア）アプリケーションを導入していますが、それらを自社のコアデータファブリックと完全に統合している企業は一部しかありません。企業は、自社のソリューションをリンクするためのソリューションを探しています。その最新のソリューションが、データハブです。

最新化プログラムの運用までの時間を短縮し、将来の俊敏性のための基盤を構築

インフォマティカは、すべてのデータを効率的に運用するという、企業が直面している課題への理解を背景に、データ統合の次世代アプローチを開発しました。

Data Integration Hubでは、最新のオーケストレーションシステムにより、このようなグローバル企業の課題を解決し、PowerCenter、Data Transformation、Informatica Cloud、Big Data Management、Data Quality、Data Maskingの強力な接続性、パフォーマンス、信頼性をすべて1つのシステムとして一元管理します。



インフォマティカについて

インフォマティカは、あらゆるモノを動かすデータの未来を変革するイノベーションに取り組む先進的な独立系ソフトウェアプロバイダーです。インフォマティカのソリューションによって世界中の企業が情報価値を高めることに成功し、ビジネスの最重要ニーズを満たしています。現在、5,800社を超える企業がインフォマティカを利用して、オンプレミスやクラウドのほか、ソーシャルネットワークを含むインターネット上の情報資産から最大限の価値を引き出すことに成功しています。

Data Integration Hubでは、メッセージング分野でよく知られるパブリッシュ/サブスクライブの概念をデータ統合にまで拡張し、適応させています。Data Integration Hubでは、小さなキロバイトサイズの packets ではなく、膨大なデータセットもパフォーマンスに一切影響を与えることなく処理し、オンプレミスなのかクラウドなのかに関係なく、使用するすべてのシステムに最適なタイミングで配信できます。

Informatica Data Integration Hubにより、企業は生産性と効率性の新たな高みに到達し、クラウドとビッグデータを自社のデータインフラストラクチャへシームレスに統合できるようになり、ビジネスで最大限の効果を発揮することが可能になります。

Data Integration Hubの新機能

- アジャイルで効率的なパブリッシュ/サブスクライブのデータハブをクラウドとビッグデータに拡張し、データワークフローをどこでも管理
- 接続性とクラウド処理の統合により、Informatica Cloud経由で100以上のSaaSとクラウドアナリティクスシステムに接続
- Informatica Big Data Managementとシームレスに統合し、Hadoopで高パフォーマンスかつ効率的なデータ処理とストレージを実現
- クラウド、ビッグデータ、従来のシステムにわたるデータ統合ワークフローの管理を可視化

主なメリット

- アナリティクスとアプリケーションの最新化プロジェクトの運用までの時間を短縮
- 一元管理された信頼できるデータに業務担当者がセルフサービスでアクセス可能
- ハブベースの独自のデータ統合により、俊敏性と効率性を向上
- データのパブリッシュ/サブスクライブのための使いやすいウィザードとWebベースのユーザーインターフェイスにより、業務での導入とセルフサービスの利用を促進
- ワークフローに最適なデータ処理エンジン（PowerCenter、Informatica CloudまたはBig Data Management）を柔軟に導入可能
- 使用するすべてのシステムにデータを正確な形式、最適なタイミング（バッチまたは準リアルタイム）で自動的に配信
- パブリケーション用のインラインのInformatica Data QualityとMaskingを内蔵
- データワークフローの優れた可視性、監視、アラート通知により、管理性とガバナンスを向上

Informatica Data Integration Hubにより、企業はアナリティクスとアプリケーションの最新化プロジェクトを、自信を持って進めることができます。管理された体系的なアプローチによって新しいアプリケーションとアナリティクスをオンプレミス、クラウド、Hadoop環境に統合してすべてのデータを完全に活用することで、競争優位性を飛躍的に高めることが可能になります。



〒105-6226 東京都港区愛宕2-5-1 愛宕グリーンヒルズMORIタワー26階 電話：03-6403-7600(代表) FAX：03-3433-1021
www.informatica.com/jp linkedin.com/company/informatica twitter.com/InformaticaCorp

© 2016 Informatica LLC. All rights reserved. Informatica® および Put potential to work™ は、米国およびその他の国における Informatica LLC の商標または登録商標です。その他すべての企業名および製品名は、各社が所有する商号または商標です。